

带状疱疹後神経痛に悩んでいます。内科で完治しなかったため、かかりつけ医と相談してペインクリニックを受診しましたが、改善しませんでした。現在は鍼灸に通っていますが、まだ少し鈍痛があります。対処法を教えてください。(70歳、男性)

### 带状疱疹後神経痛



野間研一医師

## 緩和治療が主流、予防にはワクチン

痛いことが知られます。損傷を受けた神経に沿い、「刺すような」「焼けるような」「締め付けられるような」などと表現される痛みがあり、皮膚の感覚が鈍化したり、触れるだけで痛みを感じたりすることもあります。

带状疱疹の発症から2カ月を過ぎても強い痛みやしびれが続くと、難治性の「神経障害性疼痛」の一種で、鎮痛薬が効きにくくなる場合があります。損傷を受けた神経に沿い、「刺すような」「焼けるような」「締め付けられるような」などと表現される痛みがあり、皮膚の感覚が鈍化したり、触れるだけで痛みを感じたりすることもあります。

带状疱疹の原因には、小児期に感染した水ぼうそうが関係します。水ぼうそうはいったん治りますが、ウイルス自体は脊髄周囲の神経節に潜伏します。数十年経過し、免疫力が低下した時にウイルスは再活性化します。神経節から神経を損傷しながら皮膚に出現し、水疱を作ります。これが带状疱疹です。

PHNは高齢者になるほど発症率が上がります。海外の統計によりますが、ウイルス自体は脊髄周囲の神経節に潜伏します。数十年経過し、免疫力が低下した時にウイルスは再活性化します。神経節から神経を損傷しながら皮膚に出現し、水疱を作ります。これが带状疱疹です。

带状疱疹後神経痛(PHN)は末梢神経が損傷を受けて起こる、難治性の「神経障害性疼痛」の一種で、鎮痛薬が効きにくくなる場合があります。損傷を受けた神経に沿い、「刺すような」「焼けるような」「締め付けられるような」などと表現される痛みがあり、皮膚の感覚が鈍化したり、触れるだけで痛みを感じたりすることもあります。

带状疱疹の原因には、小児期に感染した水ぼうそうが関係します。水ぼうそうはいったん治りますが、ウイルス自体は脊髄周囲の神経節に潜伏します。数十年経過し、免疫力が低下した時にウイルスは再活性化します。神経節から神経を損傷しながら皮膚に出現し、水疱を作ります。これが带状疱疹です。

PHNは高齢者になるほど発症率が上がります。海外の統計によりますが、ウイルス自体は脊髄周囲の神経節に潜伏します。数十年経過し、免疫力が低下した時にウイルスは再活性化します。神経節から神経を損傷しながら皮膚に出現し、水疱を作ります。これが带状疱疹です。

PHNは高齢者になるほど発症率が上がります。海外の統計によりますが、ウイルス自体は脊髄周囲の神経節に潜伏します。数十年経過し、免疫力が低下した時にウイルスは再活性化します。神経節から神経を損傷しながら皮膚に出現し、水疱を作ります。これが带状疱疹です。

くなら、完治は難しくなります。治療の目標は、まず夜間に眠れること。次にお風呂やカイロなどで温めたり、好きな趣味に没頭したりして、症状を感じる時間を減らすこととなります。

PHNは高齢者になるほど発症率が上がります。海外の統計によりますが、ウイルス自体は脊髄周囲の神経節に潜伏します。数十年経過し、免疫力が低下した時にウイルスは再活性化します。神経節から神経を損傷しながら皮膚に出現し、水疱を作ります。これが带状疱疹です。

奨めているので、60歳を過ぎればワクチンの接種を勧めます。ペインクリニック医やかかりつけ医にご相談ください。(兵庫真麻酔・ペインクリニック 医会長、野間研一(尼崎市、ペインクリニック野間診療所院長) ◆第1、3、4日曜に掲載します。